

1 スクール・ミッション

「校是『至誠』のもと、何事にも誠心誠意全力で打ち込む生徒を育成するため、主体性の向上、高い進路希望の実現」を教育目標とし、探究的活動、海外学校間交流等、特色ある教育活動を展開し、自己発見、自己実現、自分と世界を自分で創る力を育成します。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

将来への目的意識をはっきりもち、積極的に考え行動し自ら進路を切り開く力の育成

(2) カリキュラム・ポリシー

基礎的・基本的な知識を幅広く身に付けさせ、将来の進路を決定する基盤を作り、国公立大学入試にも対応できるカリキュラム

(3) アドミッション・ポリシー

幅広い分野に興味をもち、主体的に学習、行事、部活動に積極的に取り組む生徒

3 中期的目標と方策

(1) 学習指導

- ① 学力分析を教員自らが全員で行い、学力向上プランを活用した授業を行う。
- ② ICTの活用をより図りながら生徒が主体的・協働的に課題を発見し解決する授業を行う。

(2) 進路指導

- ① 計画的な進路探究活動を実施し、入学時の一段高い進路希望を保持させる。
- ② 様々な大学入学選抜のルートを駆使して、一段高い進路希望を実現させる。

(3) 生活指導

- ① 協調や協働の中で積極的に学校生活に取り組む主体性を向上させる。
- ② 学習活動と両立できる部活動指導を行う。
- ③ 校則の遵守を組織的・計画的に指導する。遅刻者を0とする取組を強化する。

(4) 保健指導

- ① 教育相談体制を充実させ、生徒のメンタル面での課題解決を積極的に図る。
- ② 生徒の体力向上を図る。

(5) 募集・広報活動

- ① ホームページの充実、生徒を活用した学校説明会など、募集・広報活動を全ての教職員で行う。
- ② 一段高い進路希望の実現や主体性の向上に意欲の高い入学希望者を増やす。

(6) 学校経営・組織体制

- ① 企画調整会議をより活性化し、秩序ある分掌・学年組織の運営を徹底する。
- ② 教科主任会と教科会をより活性化し、学習指導体制を強固にする。

4 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

(目標) 課題を見出し、解決策を提示できる、思考力・判断力・表現力を養う授業への改善

(方策) ① 定期考査や模擬試験の結果分析を踏まえた教科会における課題と学力向上策の明確化

- ② 主体的で対話的な深い学びを実現するための授業研究の実施
- ③ 教員相互の授業参観の実施
- ④ 生徒の科学的思考力を高め、疑問点を自ら解決する態度の涵養

イ 進路指導

(目標) キャリア教育の充実による一段高い進路意識の保持

(方策) ① 生徒が主体的に進路探究活動を行うための進路行事の内容充実

- ② 各種検定の実施や朝学習の充実など、スモールステップで進路意識を高める取組の充実
- ③ 海外学校間交流推進校として姉妹校交流を進め、主体的に他者理解を深める取組の拡充

ウ 募集・広報活動

(目標) 本校の特色ある教育活動への理解を深め入学を希望する中学生の増加

(方策) ① ホームページの内容充実、学校案内のレイアウトや内容の刷新

- ② 入学者のいない学校や地区の上級学校講話や校外合同説明会等への参加

エ 生活指導

(目標) 統一した生活指導方針による校則遵守の組織的な指導と生徒の主体性の向上

(方策) ① あらゆる学校行事で実行委員公募を行うなど特別活動への生徒の主体的な取組の促進

- ② 部活動顧問による生徒指導の強化、学習活動と両立できる活動計画立案・実施
- ③ 教育相談の手法を活用した学年と生活指導部の連携による系統的な生徒指導の取組

オ 保健指導

(目標) 生徒一人一人の健康状態や体力の現状を的確に把握する、個に応じた健康指導の充実

(方策) ① 面談週間など学校への帰属感を高める生徒の心身の健康状態に即した教育相談の推進

- ② 体力向上に向けた様々な取組の推進

カ 学校経営・組織体制

(目標) 生徒の自己実現の支援に全力を傾注する学校経営の組織的な展開

(方策) ① 企画調整会議を中心とした分掌部会や学年会、教科会の連携の一層強化

- ② 会議運営の効率化をはじめとした計画的な業務の進行管理
- ③ ライフ・ワーク・バランス実現を目指す、業務が偏在しない、同僚性の高い職場づくり

(2) 重点目標と方策

ア 漢字検定、文章検定、数学検定及び英語検定の目標級合格に向けた生徒の学習支援の充実

イ 難関大学の合格を可能にする特別授業や進路行事など工夫ある教育課程の実施

ウ 思考力・判断力・表現力等を高める教科指導の実施

エ 早朝学習、スタディ・ラボ、理数サポート塾への参加促進

オ 生徒の体力の底上げを図る体育の授業や運動系の部活動の内容充実

カ 特別な支援を要する生徒に対する合理的な配慮など個に応じたきめ細かい対応

(3) 数値目標

ア 家庭学習時間を第1学年は1.5時間、第2学年は2時間

イ 国公立大学+難関私立大学+GMARCH合格者延べ人数100名

ウ 大学入学共通テストにおける各教科・科目ごとの平均点数が全国平均の95%以上

エ 英語検定準2級以上200名

オ 学校説明会参加者延べ人数5000名、推薦入試倍率4倍・一般入試倍率2倍

カ 部活動加入率95%